

平成 29 年度 第 9 回理事会

日 時：平成 29 年 12 月 8 日（金） 17：00～17：30

場 所：林木育種センター 小会議室（日立市）

I. 議 題

1. 役員給与規程の一部改正について（案）
2. 役員給与規程第 4 条に係る平成 29 年度の取り扱いについて（案）

II. 報 告

1. 職員給与規程の一部改正について
2. 特定母樹等普及促進会議の開催状況について
3. 林木育種事業 60 周年記念シンポジウムの開催について
4. 森林整備センターにおける平成 29 年度林業者等への研究成果の「橋渡し」の取組について
5. その他
 - （1）今後の行事予定について
 - （2）主要行事

理 事 会 資 料
平 成 2 9 年 1 2 月 8 日

役員給与規程の一部改正について(案)

1. 平成29年12月1日付けの役員給与規程の改正

(1) 給与規程の改正について

国家公務員において「公務員の給与改定に関する取扱いについて」が閣議決定され、官民格差等に基づく給与水準の改定が行われることとなったところである。

当法人においても国に準じた取扱いとするため、平成29年12月1日に役員給与規程の一部改正を行うこととする。

(2) 改正の主な概要

① 期末特別手当の支給割合の引き上げ

期末特別手当の年間支給割合を0.05月分引き上げて3.20月分とする。

② 改正時期

平成29年12月1日

理 事 会 資 料

平成29年12月8日

役員給与規程第4条に係る平成29年度の取り扱いについて(案)

平成29年度における役員給与規程第4条第4項の規定の取扱いについては、平成28年度独立行政法人評価委員会の総合評価の結果及び人件費を巡る厳しい状況を踏まえ、前年度の取扱いと同様に俸給月額を増減はしないこととしたい。

<役員給与規程抜粋>

(俸 給)

第4条 常勤役員の俸給の月額は、次の表に掲げるとおりとする。

号 俸	俸 給 月 額
1	706,000円
2	761,000円
3	818,000円
4	895,000円

2 常勤役員の号俸は、次の各号に掲げる号俸とする。

- 一 理事長 4号俸
- 二 理事 3号俸以下
- 三 監事 1号俸

3 理事長は、前項第2号に掲げる常勤役員について、その職務の困難度、業務に対する貢献度等を総合的に勘案して、号俸を決定する。

4 理事長は、役員の業績を考慮して必要があると認めるときは、常勤役員が受けるべき俸給の月額を増額し、又は減額するものとする。

附 則[平成20年4月1日20森林総研第5号]

(俸給月額の特例)

3 独立行政法人森林総合研究所法(以下「法」という。)附則第13条第2項に規定する理事のうち独立行政法人森林総合研究所組織及び事務分掌規程(13森林総研第47号)第135条の5第2項の規定により森林整備センター所長を兼ねる者については、第4条第2項の規定にかかわらず、4号俸とすることができる。

理 事 会 資 料
平成２９年１２月８日

職員給与規程の一部改正について

1. 給与規程の改正について

国家公務員において「公務員の給与改定に関する取扱いについて」が閣議決定され、官民格差等に基づく給与水準の改定が行われることとなったところである。

当法人においても、国家公務員に準じた内容で労働組合に給与改定等を提案し、賃金改定交渉において妥結したことから、平成29年12月1日に職員給与規程の一部改正を行うこととする。

2. 改正の主な概要

(1) 俸給表の引き上げ

① 一般職員俸給表

改定率平均0.2%。初任給は1,000円引上げ。若年層についても同程度の引上げ。

② その他の俸給表

一般職員俸給表との均衡を基本に改定（指定職員俸給表は改定なし）。

(2) 俸給の特別調整額の引上げ

俸給表の改正に伴う引上げ。

一般職員 8級Ⅰ種 116,900円→117,000円

(3) 特別給の支給割合の引き上げ

特別給の支給割合を0.1月分（再雇用職員にあっては、0.05月分）引き上げ。

俸 給 表	改正前	改正後
一般職員・技術専門職員・研究職員	4.30月	4.40月
任期付研究員	3.25月	3.30月
指定職員	3.15月	3.20月
再雇用職員	2.25月	2.30月

(4) 改正時期

平成29年12月1日（(1)及び(2)は、平成29年4月1日から適用）

平成 29 年 12 月 8 日
理 事 会 資 料
林木育種センター

特定母樹等普及促進会議の開催状況について

1. 会議の趣旨

本会議は、平成 25 年度の間伐等特措法の改正により特定母樹制度が導入されたことを契機とし、特定母樹等の早期普及に向けた取組を地域において推進するため、特定母樹の指定及び増殖状況や性能、採種園・採穂園の整備状況等について、関係者間での情報共有を図るとともに、特定母樹等の開発や関連技術等に関するニーズを把握することを目的として、平成 27 年度から育種基本区ごとに開催しているところ。

2. 参加者

特定母樹等の開発・普及に取り組む森林管理局、都道府県、林業関係団体、認定特定増殖事業者、森林総合研究所関係領域・支所、森林整備センター。林木育種センター及び各育種場が事務局として主催。林野庁がオブザーバーとして出席

3. 開催状況

(1) 北海道地区

- ・時期等：9 月 27 日（水）（北海道札幌市）
- ・参加者：46 名

(2) 東北地区

- ・時期等：9 月 11 日（月）（岩手県盛岡市）
- ・参加者：41 名

(3) 関東地区

- ・時期等：7 月 24 日（月）～25 日（火）（茨城県日立市）
- ・参加者：65 名（現地検討は 55 名）

(4) 関西地区

- ・時期等：10 月 3 日（火）（大阪府大阪市）
- ・参加者：59 名

(5) 九州地区

- ・時期等：11 月 15 日（水）（大分県玖珠町）
- ・参加者：53 名（現地検討は 52 名）

4. 主な説明事項

- ・ エリートツリー等の開発、特定母樹の認定及び増殖状況
- ・ 試験植栽の成果等特定母樹の性能について
- ・ 認定特定増殖事業者及び関係機関による取組み状況

5. 主な要望等

- ・ さらに成長が優れたもの、少花粉の特性や雪害抵抗性を有するものの特定母樹としての申請
- ・ カラマツのエリートツリーの選抜の推進
- ・ カラマツ種子の安定供給に向けた技術開発
- ・ 特定母樹の安定的な供給
- ・ 認定特定増殖事業者等に対する接ぎ木や接ぎ木苗の育成管理等に関する技術指導

6. 開催状況

(関東地区)



(九州地区)



林木育種事業60周年記念シンポジウム

豊かで多様な森林の恵みを

未来につなげる林木育種

開催日：平成30年2月16日（金）13:00～17:00

会 場：木材会館 7 階ホール（江東区新木場1-18-8）

エリートツリーの初期成長試験地（林木育種センター内）

■基調講演

「再造林時代の林木育種」

- ・東京大学 大学院農学生命科学研究科
教授 井出 雄二

■林木育種成果発表

- ・森林総合研究所林木育種センター、育種場
7課題

■パネルディスカッション

■コーディネーター

- ・岐阜大学 応用生物科学部 教授 向井 譲

■パネリスト

- ・網田 克明（全国林業試験研究機関協議会 会長）
- ・上 練三（林野庁 研究指導課長）
- ・岸 紘治（全国山林種苗協同組合連合会 会長）
- ・後藤 晋（東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授）
- ・星 比呂志（林木育種センター 育種部長）

※ 50音順



会場へのアクセス

- ・JR京葉線
- ・東京メトロ有楽町線
- ・東京臨海高速鉄道
りんかい線

「新木場駅」下車

主催：国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所林木育種センター

申込み・問合せ先： 育種企画課 栗田・小野
TEL 0294-39-7002
FAX 0294-39-7306
E-mail: ftbc60kinen@ml.affrc.go.jp

林木育種事業60周年記念シンポジウム プログラム

平成30年2月16日(金) 場所: 木材会館7階ホール

13:00～

開 会

主催者挨拶: (国研) 森林研究・整備機構

理事長 沢田 治雄

祝 辞: 林野庁長官 沖 修司

13:10～

基調講演「再造林時代の林木育種」

東京大学大学院農学生命科学研究科

教授 井出 雄二

13:50～

林木育種成果発表(林木育種センター、育種場)

○これまでの品種開発の取組

育種第一課 育種調査役 田村 明

○林木育種の次世代化に向けて

育種第一課長 高橋 誠

○林木ジーンバンク事業の成果と今後の方向

探索収集課長 山田 浩雄

○県との連携による第二世代抵抗性アカマツ品種の開発

関西育種場 育種課 主任研究員 岩泉 正和

○特定母樹の普及に向けた取組

北海道育種場 遺伝資源管理課長 坂本 庄生

○海外における林木育種の展開

西表熱帯林育種技術園長 千吉 良 治

○林木育種におけるバイオテクノロジーのこれまでとこれから

森林バイオ研究センター 森林バイオ研究室長 谷口 亨

15:50～

パネルディスカッション

テーマ「豊かで多様な森林の恵みを未来につなげる林木育種」

○コーディネーター

岐阜大学応用生物科学部 教授 向井 譲

○パネリスト

・網田 克明(全国林業試験研究機関協議会 会長)

・上 練三(林野庁 研究指導課長)

・岸 紘治(全国山林種苗協同組合連合会 会長)

・後藤 晋(東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授)

・星 比呂志(林木育種センター 育種部長)

※ 50音順

17:00～

閉 会

・林木育種センター所長 川野 康朗

※ シンポジウム終了後懇親会(立食形式)を
予定しています。

・場所: 木材会館6階小ホール

・時間: 17:30～19:00

・参加費: 5,000円

参加申し込み方法

1. 森林総合研究所林木育種センター・ホームページをご覧ください。
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/index.html>
2. 林木育種センター・ホームページの参加申し込み用紙をダウンロードしてください。
3. 記載事項「所属、氏名、連絡先(電話、メールアドレス等)、懇親会参加の有無」
(懇親会費は当日会場受付で申し受け致します)
4. 下記の問い合わせ先に、メールまたはFAXにて、お申し込みください。
5. 申し込み締め切り
平成30年1月25日(木)

問い合わせ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構

森林総合研究所林木育種センター

育種企画課 栗田・小野

TEL 0294-39-7002

FAX 0294-39-7306

E-mail: ftbc60kinen@ml.affrc.go.jp

会場アクセス

- ・JR京葉線、東京メトロ有楽町線、
東京臨海高速鉄道、りんかい線
「新木場駅」下車 徒歩7分
木材会館: 東京都江東区新木場1-18-8



平成29年度における林業者等への研究成果の「橋渡し」の取組実績

1. 東北北海道整備局

東北地方に松くい虫被害が進み、特に岩手県においては「**松くい虫対策**としてのアカマツ伐採施業指針」を定め、被害地域の指定、処理方針や対策を積極的に進められているなか、平成29年 7 月26日から28日にかけて岩手県奥州市において検討会を開催した。

岩手県、宮城県内の林業関係者56名が参加し、森林総合研究所東北支所 中村生物被害研究グループ長が「東北地方及び岩手県の松くい虫被害の現状と対策のあり方」について講演を行い、その後森林整備センター分収造林契約地で松くい虫被害木に関する講演・意見交換を行った。



【中村グループ長の講演】



【現地講演・意見交換】

2. 関東整備局

長伐期化した山林の施業方法などに関して、実際に現地において作業を行い、経験を積むことを趣旨として、平成29年 9 月27日から29日にかけて、福島県会津若松市において検討会を開催した。

福島県内の林業関係者 35 名が参加し、森林整備センター分収造林契約地において、森林総合研究所 千葉研究コーディネーターが「**長伐期における施業指針**」について講演を行い、長伐期林とするメリットやデメリット、気象害リスクなどの長伐期化する際に考慮する事項等に関する意見交換を行った。



【千葉コーディネーターの講演】



【林業関係者への説明】

3. 中部整備局

効率的なシカ被害対策と防護柵の破損リスク低減に向けて、平成29年9月20日に静岡県静岡市において検討会を開催した。

愛知県、岐阜県、三重県、静岡県内の林業関係者22名が参加し、森林総合研究所多摩森林科学園 小泉研究専門員が「**シカ被害対策**の現状と対策」について講演を行い、その後森林整備センター分収造林契約地で、シカ被害対策として有効なブロックディフェンスに関する講演・意見交換を行った。



【小泉研究専門員の講演】



【現地講演・意見交換】

4. 近畿北陸整備局

丈夫で簡易な作業道づくりに向けて、平成29年10月11日から13日にかけて、和歌山県田辺市において検討会を開催した。

和歌山県、奈良県内の林業関係者51名が参加し、森林総合研究所関西支所 森林環境研究グループ 多田主任研究員が「**安全な路網計画**のための崩壊危険地ピンポイント抽出技術」について講演を行った。講演では地形や現地植生など、現場で着目すべき危険指標に関する説明を行った。



【多田主任研究員の講演】



【会場の様子】

5. 中国四国整備局

コスト縮減の観点から、早生樹を用いた下刈軽減等に向けて、平成29年10月17日から19日にかけて、岡山県備前市において検討会を開催した。

岡山県内の林業関係者28名が参加し、森林総合研究所林木育種センター 山田探索収集課長が「**コウヨウザン**研究の現状についてー農食研で得られた成果ー」について講演を行い、その後森林整備センター分収造林契約地で「コウヨウザン」に関して説明した。続いて、同造林地内で森林総合研究所林木育種センター 関西育種場 久保田育種課長が「**エリートツリーと少花粉スギ**」に関して講演・意見交換を行った。



【山田課長の講演】



【現地講演・意見交換】

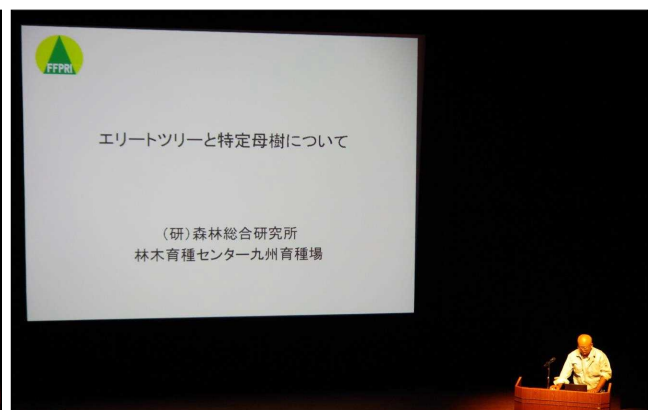
6. 九州整備局

シカ被害対策とコスト縮減について、平成29年10月4日から6日にかけて、大分県日田市において検討会を開催した。

九州整備局管内の林業関係者142名が参加し、森林総合研究所九州支所 森林生態系研究グループ 野宮主任研究員が「シカ柵だけではない**シカ被害対策**について」、森林総合研究所林木育種センター 九州育種場 倉本育種課長が「**エリートツリーと特定母樹**について」それぞれ講演を行った。



【野宮主任研究員の講演】



【倉本育種課長の講演】

現地検討会の実施状況について

	内 容		出席者
	技術高度化及び橋渡し	技術高度化	
中国四国整備局 6月7日～9日	<p>【講演】 「労働安全衛生向上につながる防護用品の必要性」 森林総合研究所 四国支所 産学官民連携推進調整監 鹿島 潤</p>	<p>【講演】 「鉄鋼スラグについて(路面工)」 新日鉄住金(株)大分製鐵所 スラグ営業室 主幹 工藤 俊昭</p> <p>・マサ土地域における丸太組工と法面保護について</p>	職 員 45名 関係者等 33名
中部整備局 7月3日～5日		<p>【講演】 「80年生カラマツを上手に使う次世代の森林を育てる」 長野県林業総合センター 指導部 課長補佐兼林業専門指導員 小山 泰弘</p> <p>・複層林誘導伐について (複層林誘導伐の対象地の条件について検討)</p> <p>・作業道の路網計画・路線設定について (複層林誘導伐を見据えた路網計画の検討及び水処理の仕方を検討)</p> <p>・労働安全衛生について</p>	職 員 33名 関係者等 68名
東北北海道整備局 7月26日～28日	<p>【講演】 「東北地方及び岩手県の松くい虫被害の現状と対策のあり方」 森林総合研究所 東北支所 生物被害研究グループ長 中村 克典</p> <p>・松くい虫被害確認の現地検討</p>	<p>【講演】 「林業における労働安全衛生」 公共財団法人岩手県林業労働対策基金 常務理事兼事務局長 千葉 栄</p> <p>・暴風雪被害及び台風被害地の調査手法について (被害地における標準地の現地検討)</p>	職 員 32名 関係者等 56名
中部整備局 9月20日	<p>【講演】 「シカ被害対策の現状と対策」 森林総合研究所 多摩森林科学園 研究専門員 小泉 透</p> <p>・ブロックディフェンスについての現地検討</p>	<p>・ケモノ道を残置するシカ防護柵(ブロックディフェンス)の設置について</p>	職 員 17名 関係者等 22名
関東整備局 9月27日～29日	<p>【講演】 「長伐期施業について」 森林総合研究所 研究コーディネーター 千葉 幸弘</p>	<p>・植積作業と検知作業の現地検討 (植付作業及び植崩作業の留意事項確認と一般材及び低質材の検知について現地検討)</p> <p>・労働安全衛生対策</p>	職 員 30名 関係者等 35名
九州整備局 10月4日～6日	<p>【講演】 「シカ柵だけではなくシカ被害対策について」 森林総合研究所 九州支所 森林生態系研究グループ 主任研究員 野宮 治人</p> <p>【講演】 「エリートツリーと特定母樹について」 森林総合研究所 林木育種センター 九州育種場 育種課長 倉本 哲嗣</p>	<p>・路床材について (軟弱土壌における丸太組工と路体の研究及び鉄鋼スラグを用いた路面処理の事例紹介)</p> <p>・複層林誘導伐について (契約者との契約に関する協議と作業道の路網計画及び伐区設定の検討)</p> <p>・間伐事業について (作業道、機械道、集積区域の路網計画の立て方及び事例紹介)</p> <p>・シカ食害への取組について (ネットの管理及び修理の仕方についての検討と大苗を導入したことによる複合的な取組の紹介)</p> <p>・労働安全衛生について</p>	職 員 52名 関係者等 142名
近畿北陸整備局 10月11日～13日	<p>【講演】 「安全な路網計画のための崩壊危険ポイント抽出技術」 森林総合研究所 関西支所 森林環境研究グループ 主任研究員 多田 泰之</p>	<p>・鉄鋼スラグを用いた路面工の検討について</p> <p>・伐木造材作業及び刈払作業における安全な作業方法について</p> <p>・労働安全衛生について</p>	職 員 35名 関係者等 52名
中国四国整備局 10月17日～19日	<p>・エリートツリーについての現地検討 森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場 育種課長 久保田 正裕</p> <p>【講演】 「コウヨウザン研究の現状について - 農食研で得られた成果 -」 森林総合研究所 林木育種センター 探索収集課長 山田 浩雄</p>	<p>【講演】 「立木を利用した斜め張り防護柵の設置コストとシカ侵入防止効果について」 岡山森林管理署 業務グループ 農林水産技官 丸山 晃央</p> <p>・シカネット(斜め張り)についての現地検討</p> <p>・エリートツリー、少花粉スギについての現地検討</p>	職 員 51名 関係者等 28名

理 事 会 資 料
平成２９年１２月８日

今後の行事予定について

月 日	研 究	水 源	保 険	行 事 名 等	場 所
１２月１日	○			関西支所研究推進業務報告会	関西支所
１２月４日	○			北海道支所業務報告会	北海道支所
１２月５日	○			九州支所共同特殊実験棟建替（CLTパネル工法） 現地見学会	九州支所
１２月７日～８日	○			平成２９年度 企画連絡会議	森林総合研究所
１２月８日	○	○	○	第９回理事会	林木育種センター
１２月１８日	○			優良品種・技術評価委員会（第１回）	未定
１２月２２日	○			四国支所業務報告会	四国支所
１２月下旬（調整中）			○	事務・業務の総点検に関する検討委員会	森林保険センター
１月１２日	○	○	○	第１０回理事会	森林総合研究所
１月２６日	○			優良品種・技術評価委員会（第２回）	未定
１月３０日		○		平成２９年度第４回 事業運営会議	森林整備センター
			○	第４回森林保険運営会議	森林保険センター
１月２９日～３０日		○		平成２９年度 整備局長会議	森林整備センター

主要行事（平成29年11月10日～平成29年12月7日）

月 日	行 事 内 容	出 席 者
11月10日(金)	【共】第8回理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
10日(金)	寄附金等受入審査委員会	企画・総務・森林保険担当理事、法令遵守担当理事
11日(土)	諸戸文化財の森視察	理事長、鈴木監事
12日(日)	農学アカデミーシンポジウム	理事長
12日(日) ～14日(火)	西表熱帯林育種技術園視察	育種事業・森林バイオ担当理事
15日(水)	九州地区特定母樹等普及促進会議	育種事業・森林バイオ担当理事
13日(月) ～15日(水)	九州森林管理局表敬、九州支所・九州育種場視察	理事長
15日(水)	【研】国立研究開発法人協議会運営課題分科会	研究担当理事
17日(金)	ハーモニートップセミナー	企画・総務・森林保険担当理事
18日(土) ～19日(日)	第41回全国育樹祭	理事長、森林業務担当理事
19日(日) ～20日(月)	森林・林業・環境機械展示実演会	研究担当理事
20日(月)	国立研究開発法人協議会運営課題分科会 第2回情報セキュリティ・タスクフォース	企画・総務・森林保険担当理事
21日(火)	【共】第2回契約監視委員会	企画・総務・森林保険担当理事、両監事
21日(火)	業績審査委員会	企画・総務・森林保険担当理事
22日(水)	【研】第15回環境研究シンポジウム	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、法令遵守担当理事
24日(金)	日本農学進歩賞授賞式	研究担当理事
24日(金) ～25日(土)	漆サミット2017 in 鎌倉	理事長、鈴木監事
27日(月) ～30日(木)	【整】監事監査	鈴木監事
27日(月)	【研・育】庶務課長等会議	企画・総務・森林保険担当理事
28日(火)	森林GISフォーラム平成29年度 地域シンポジウム in つくば	理事長
29日(水)	【共】第2回環境委員会	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、法令遵守担当理事
30日(木)	【研・育】第3回育種運営会議	理事長、研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事、法令遵守担当理事
12月 1日(金)	監事連絡会研修	両監事
3日(日)	福島森林・林業再生に向けたシンポジウム	理事長、企画・総務・森林保険担当理事
4日(月)	庁議	理事長
4日(月) ～5日(火)	【研】九州森林管理局表敬、九州支所実験棟(CLT)現地見学会	企画・総務・森林保険担当理事
5日(火)	【共】監査担当部署意見交換会	両監事

※【研】：森林総合研究所、【育】：林木育種センター、【整】：森林整備センター、【保】：森林保険センター、【共】：共通の行事の略